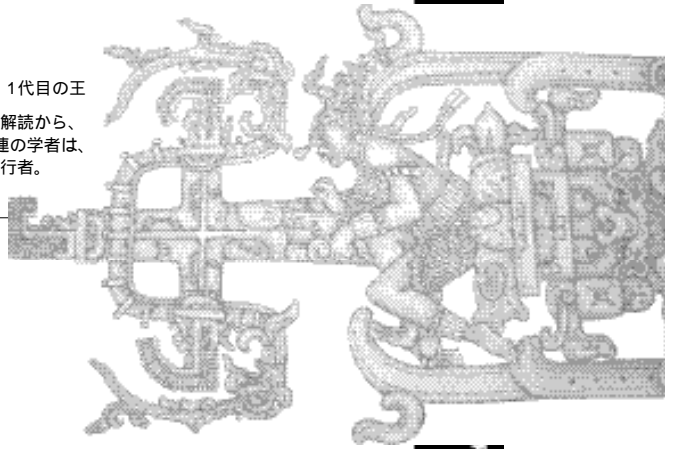


時間の旅人 パカル・ヴォタン マヤ古代王朝11代目の王
 1952年発見された、この石棺と碑銘の神殿の文字の解読から、マヤの叡智がよみがえった。空間認識しかできないソ連の学者は、宇宙飛行士だと考えた。パカル・ヴォタンは、時間航行者。

第4回

2012年に向けて マヤの預言 2



柳瀬 宏秀の「コスミック・ダイアリー」
 宇宙の叡智に挑んだ男

マヤ暦の叡智えいぢによって、誰でも、 新しい時間に旅立っています

「預言とは、何でしょうか？
 預言とは、知識のルーツ
 そして、人々の過ちに対する「時間のリアクション」。

「預言とはいったい、何のことでしょうか？」



「預言」といつと、どういつイメージを皆さんおもちですか？

チャネラーのような人がいて、いつ、どんな事が起こるかを当ててる。あるいは、当たらない。

そういうものを預言だと思ってると思います。

今月は「預言は、時間のリアクション」ということを伝えたいと思います。いままでの預言とは、まったく違う意味を、「預言」という言葉に見いだすようになるでしょう。その「時間のリアクション」ということが理解できないと、ノストラダムスの大予言のよう

な、あるいは大晦日のテレビ番組のような、人の進化にまったく寄り合わない、騒がしいだけの興味本位のネタにしかありません。

ウイリアム・コマンダが持つべきものだったので。

ネイティブの預言



1997年の「フナイ・オープン・ワールド」に、ウイリアム・コマンダというネイティブの長老が来日し、「ワンパムベルト」という預言が託されたベルトを持って、その預言を3000人の前で開示しました。

ワンパムベルトというのは、ほとんどが博物館にあり、唯一、ネイティブの手にあるのがこの長老

3日後に、長老ウイリアム・コマンダにインタビュウしているとき、彼は「おまえだけに見せる」と言って彼の見たビジョンの絵を

見せてくれました。

そのとき、「あの雷と大きな雨の意味は？」と尋ねると、「それは、語るべきものではない」と答えました。

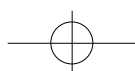
つまり、「語る」とウソになる。それは、感じるべきものなのだ」という彼のメッセージが伝わってきました。

人類の再生をテーマに「フナイ・オープン・ワールド」で講演をした30人ほどのなかから8人を選び、「REBIRTH・再生」というタイトルで《NASA》の映像も取り寄せてビデオを作ったとき、久しぶりに編集の現場に入り、長老ウイリアム・コマンダの癒しの歌に、詩を書きました。



柳瀬宏秀 やなせひろひで
 環境意識コミュニケーション研究所代表。20年間、電通にて、コピーライター、CMプランナー、映像プロデューサーとして働き、4年前に退社し、現職。「京都、満月祭り」「満月の十三祭り」を企画プロデュース。仁和寺や上賀茂神社、平安神宮などで、喜多郎、UA、BEGIN、梅若六郎など、賛同するアーティストと、祭りの空間を生み出す。

「環境意識」「月のおもてなし」「共振のコミュニケーション」をテーマに、企業コンサルタントやセミナー、研修、講演なども行っている。ホームページは、<http://www.async.ne.jp/cosmic/>





柳瀬宏秀・著
『コスミック・ダイアリー2007』
2006年7月26日～2007年7月24日
価格2,800円（送料200円）
10冊以上お求めの方は1冊2,240円（定価の80%）
+送料（10冊で600円。10冊合計23,000円）

お申し込みは、FAXかメールにて、
《環境意識コミュニケーション研究所》まで
FAX :055-974-3877
mail:cosmic-kin12@syd.odn.ne.jp

コンクリートで固められた
東京の大地でさえ
大きな雨と雷で
こたえたのに
どうして人は、気づかないのか

「時間はオーガニック・
オーダー」というキーワ
ードを覚えていきますか？



この連載の第1回目の内容は、
すべて「時間は、オーガニック・
オーダー」を伝えていきます。「時
計」を時間だと思ひ、時間がわか
らなくなった社会において、本来
の4次元以上の時間を説明するこ
とは、そういう概念が失われてい
るわけですから、至難の業です。
「有機的な秩序」 太陽の周り
を地球が首を傾けて公転している
ことを感じ、太陽からの熱と光と
エネルギーの変化によって、微生
物から、草木、虫、動物、木々、
森、海まで、すべてが有機的につ
ながってつぎつぎと変化してい
るダイナミズムを感じることに
できます。
それを感じるようになると、海
を見て、宇宙を感じないでいるこ
とは無理になります。
「時間は、オーガニック・オーダ
ー」というキーワードから、まず、
「周期としての時間」を感じ始め
ると、有機的秩序としてある地球

のすべてを時間を通して「観る」
という一種、宗教家や詩人の世界
が普通のこととなります。一輪の
花を見て、宇宙を感じます。

道德とは？



「コスミック・ダイアリーで言う
「道德」とは何でしょう？ それ
は宇宙の道德です。
究極の道德観をはずれた状態と
はいったいどういふものでしょ
う？ 宇宙的な観点から見ると、
それは自然のサイクルからはずれ
た生き方をするといふものです。
イルカの社会に裁判所はありません。
なぜなら彼らはすべて自然の
サイクルに従って生きているから
です。地球上のあらゆる生物種は
一つの法則、秩序のなかで生きて
います。

イエスや仏陀は、
優れた預言者



イエスや仏陀の教えは、そのメ
ッセージは、宇宙の摂理を取り戻
しなさいといふことです。「愛」
や「慈愛」、「コンパッション
(compassion:深い思いやり)」。
その本質は、自然の摂理を失っ
ている人々に、それを取り戻すよ
うに語っています。彼らは本を残

さなかつたので、弟子の言葉や、
後世に宗教会議などで本が編纂さ
れ、その教えが伝えられているの
ですが、そのなかの彼らの本質的
なメッセージを、もう一度、チェ
ックしてみてください。

彼らのメッセージが、教えが、
「宇宙の摂理を取り戻しなさい」
といふことだとしたら、彼らが優
れていたといふことは、どうい
うことでしょうか？

それは、その時代の人々が、自
然の摂理を失った生き方をしてい
るといふことです。もし、多くの
人が自然の摂理に従って生きてい
たとしたら、イエスや仏陀のメ
ッセージは、別に、優れたもので
はなく、普通のメッセージだった
はずで。

預言は
時間のリアクション



いろいろな預言を検証していく
と、すべてある種のパターンをも
っています。預言の本質というの
は、「人間が自然から離れてしま
っている。これがテーマなのです。
「時間は、オーガニック・オーダ
ー」だとすると、その有機的秩序
をいま、人類が押しつぶしている
のを「観」ることが出来ます。
時間は形のないものだけれど、
仮に、「オーガニック・オーダー

の時間」を丸いボールのようなも
のと仮定すると、それを人類がギ
ューと押しつぶし、ぺちゃんこ
にしています。

そして、押しつぶされた「時間」
が反発し、元の形に戻ろうとする
そのイメージが、「時間のリアク
ション」です。「預言は、時間の
リアクション」という意味を「観
じて」ください。

預言者は、聖書のアブラハムや
イエス、また仏陀は「改革をしな
ければならない」「自然の摂理を
取り戻せ」といふメッセージをも
っていました。優れた預言者が出
てくればくるほど、それは社会が
自然の摂理を失っているといふこ
とを意味します。

つまり、あまりにも、「有機的
秩序」を人が見失ってしまつて、
限界に来たときに、宇宙の摂理を
取り戻すメッセージが必要になる
のです。つまり、「時間のリアク
ション」として、そういう教えが
必要なのです。その教えが、「預
言」なのです。

「時間のリアクション」といふ観
点から見ると、イエスや仏陀のよ
うな優れた預言者が必要な状況
が、彼らを生んだわけです。

（次号に続く マヤの預言）